

募集

内=内容 種=種別 対=対象 定=定員 選=選考方法 費=費用 持=持ち物 申=申込み 問=問合せ 担=担当課

区分	名称	内容・対象等	申込み・問合せ等
スポーツ文化	著名ボクサーがすみだに集う！ 「すみだボクシング祭り2025」運営ボランティア募集	内 来場者対応などのボランティア 【とき】5月17日(土)午前10時～午後5時 *半日のみ参加も可 【ところ】ひがしアリーナ(区総合体育館)(錦糸4-15-1) 対 区内在住の勤労者または区内で活動する団体に所属する15歳以上の方 *17歳以下の方は保護者の同意が必要	申 オンライン申請で、4月20日までに「すみだスポーツボランティア」に登録 問 スポーツ振興課スポーツ振興担当 ☎5608-6312  
区政その他	墨田区資源環境審議会の委員の募集	内 区の環境施策等の審議 【任期】6月1日～9年5月31日 対 区内在住の方 定 若干名 選 書類選考 	申 オンライン申請か、応募動機や環境問題・ごみ減量等に関する課題・意見をまとめた作文(800字以内で書式自由)、氏名、住所、生年月日、Eメールアドレスを郵送、Eメールで、4月28日(必着)までに〒130-8640環境政策課環境政策担当 ☎5608-6209・✉kankyouseisaku@city.sumida.lg.jpへ *選考結果は5月中旬に通知 
区政その他	令和7年度「すみだの夢応援助成事業」の募集 	内 ふるさと納税を活用して資金調達を行う地域活性化事業の募集 *採択された事業の団体は、手数料なしで、ふるさと納税ポータルサイトでのクラウドファンディングを実施 対 区内で実施する事業で、地域のニーズや社会的意義があるもの	申 申請書類を、4月24日までに申込先の事前確認(窓口またはオンライン会議システム「Zoom」で実施/要予約)を受けたうえで、直接または郵送、Eメールで、4月30日(必着)までに〒130-8640地域活動推進課まなび担当(区役所14階) ☎5608-6202・✉katsudosuishin@city.sumida.lg.jpへ *詳細は問い合わせるか、募集要項を参照 *募集要項は申込先で配布しているほか、区HPからも閲覧可 

様々な方法で！

区報(本紙)がご覧になれます！

問合せ 広報広聴担当 ☎5608-6223

区HP

区HP内に掲載された区報を、パソコン・タブレット・スマートフォン等から、ご覧になれます。

【利用方法】右記コードを読み取るか、区HP内の「すみだ区報」をクリック



毎月1日・11日・21日に発行！



無料アプリ「マチイロ」

区報を、スマートフォン用の無料アプリ「マチイロ」で閲覧できます。このアプリをダウンロードして登録すると、発行日に通知が届き、いつでもどこでも区報を閲覧できます。

【利用方法】マチイロHPからアプリをダウンロード



戸別配付(新聞を購読していない方のみ)

自宅へ、区報を発行日にお届けします。

【対象】区内在住で新聞を購読していない方 **【費用】**無料 **【配付開始号】**▶1日(必着)までの申込み=当月の11日号 ▶11日(必着)までの申込み=当月の21日号 ▶21日(必着)までの申込み=翌月の1日号 **【申込み】**随時、オンライン申請か、戸別配付申込書を直接または郵送、ファクス、Eメールで、〒130-8640広報広聴担当(区役所6階) ☎5608-6223・FAX5608-6406・✉oshirase@city.sumida.lg.jpへ *申込書は申込先のほか、各出張所・図書館等の区施設で配布 **【注意事項】**▶1住戸につき、原則1部配付 ▶郵便ポスト等の確認のため、配達員が現地調査を実施する場合あり



夢

「北斎桜」がすみだ北斎美術館のシンボルツリーに！

墨田区長

山本 亨

3月15日、すみだ北斎美術館で開催された「北斎桜植樹式」に参加しました。「北斎桜」は、英国から里帰りした品種で、英国人園芸家のコリングウッド・イングラム(1880年～1981年)により名付けられた日本国内でも希少な桜です。コリングウッド・イングラムは、欧州にジャポニスム旋風が巻き起こっていた20世紀初頭に、日本から様々な桜を持ち帰りましたが、邸宅の庭園に植えてあった桜の中に学術名のない桜を見付け、自らが敬愛する葛飾北斎にちなんで「Hokusai」と命名したそうです。

また、隅田川は江戸時代から桜の名所として知られており、本区でも区の木として桜を選定しています。一方、北斎は本区で生まれ、

その生涯のほとんどを区内で過ごしました。本区とつながりの深い「桜」と「北斎」。その名を冠する「北斎桜」が植樹されたことは大変喜ばしいことです。

すみだ北斎美術館は、来年で開館10周年を迎えます。この「北斎桜」が1年、2年と大きく成長し、見事な花を咲かせることを願っています。そして、この桜をきっかけに、多くの皆さんに、北斎に親しみや愛着を感じてもらい、北斎が暮らしたこの地の歴史や伝統文化に触れていただきたいと思います。現在、すみだ北斎美術館では、企画展「北斎×プロデューサーズ 葛屋重三郎から現代まで」を開催しており、「桜に鷹」など桜をモチーフにした作品

も楽しむことができます。すみだ北斎美術館で、春の訪れを感じてみてはいかがでしょうか。



「葛飾北斎博士ちゃん」の目黒さん(左)、澁谷館長(右)と